

第45回 全国選抜高校テニス大会 出場校一覧 (2023年1月29日発表)

【男子】

学校名	都道府県	順位	地区名
北海道科学大学高等学校	北海道	1	北海道
札幌光星高等学校	北海道	2	
帯広北高等学校	北海道	3	
仙台育英学園高等学校	宮城	1	東北
岩手高等学校	岩手	2	
日本大学山形高等学校	山形	3	
岩手県立盛岡第四高等学校	岩手	4	
東北学院高等学校	宮城	5	
法政大学第二高等学校	神奈川	1	関東
湘南工科大学附属高等学校	神奈川	2	
足利大学附属高等学校	栃木	3	
東海大学菅生高等学校	東京	4	
東京学館浦安高等学校	千葉	5	
東葉高等学校	千葉	6	
浦和麗明高等学校	埼玉	7	
高崎商科大学附属高等学校	群馬	8	
日本大学第三高等学校	東京	9	
敦賀気比高等学校	福井	1	北信越
北陸高等学校	福井	2	
松商学園高等学校	長野	3	
東京学館新潟高等学校	新潟	4	
金沢高等学校	石川	5	
富山第一高等学校	富山	6	
三重県立四日市工業高等学校	三重	1	東海
麗澤瑞浪高等学校	岐阜	2	
名古屋経済大学市邨高等学校	愛知県	3	
名古屋高等学校	愛知県	4	
日本大学三島高等学校	静岡	5	
磐田東高等学校	静岡	6	
岐阜県立岐阜商業高等学校	岐阜	7	
相生学院高等学校	兵庫	1	近畿
近畿大学附属高校	大阪	2	
東山高等学校	京都	3	
関西学院高等部	兵庫	4	
光泉カトリック高等学校	滋賀	5	
興國高等学校	大阪	6	
奈良育英高等学校	奈良	7	
関西高等学校	岡山	1	中国
岡山理科大学附属高等学校	岡山	2	
開星高等学校	島根	3	
広島国際学院高等学校	広島	4	
山口県立西京高等学校	山口	5	
香川県立高松北高等学校	香川	1	四国
新田高等学校	愛媛	2	
徳島県立城南高等学校	徳島	3	
愛媛県立松山東高等学校	愛媛	4	
英明高等学校	香川	5	
柳川高等学校	福岡	1	九州
大分県立大分舞鶴高等学校	大分	2	
鳳凰高等学校	鹿児島	3	
沖縄尚学高等学校	沖縄	4	
宮崎県立佐土原高等学校	宮崎	5	
海星高等学校	長崎	6	
折尾愛真高等学校	福岡	7	
大分県立大分鶴崎高等学校	大分	8	

【女子】

都道府県	学校名	順位	地区名
北海道	札幌光星高等学校	1	北海道
北海道	北星学園女子中学高等学校	2	
北海道	函館白百合学園高等学校	3	
宮城	仙台育英学園高等学校	1	関東
秋田	聖霊女子短期大学付属高等学校	2	
山形	山形県立寒河江高等学校	3	
福島	福島県立磐城高等学校	4	
岩手	岩手県立盛岡第四高等学校	5	
埼玉	浦和麗明高等学校	1	
神奈川	白鷺女子高等学校	2	
神奈川	法政大学第二高等学校	3	
千葉	東京学館浦安高等学校	4	
東京	早稲田実業学校	5	
東京	日本大学鶴ヶ丘高等学校	6	
千葉	東葉高等学校	7	
茨城	東洋大学附属牛久高等学校	8	
山梨	山梨学院高等学校	9	
群馬	太田市立太田高等学校	10	
長野	松商学園高等学校	1	北信越
福井	仁愛女子高等学校	2	
新潟	新潟第一高等学校	3	
石川	北陸学院高等学校	4	
石川	金沢高等学校	5	
長野	松本県ヶ丘高等学校	6	
富山	富山県立富山北部高等学校	7	
三重	三重県立四日市商業高等学校	1	東海
静岡	浜松市立高等学校	2	
岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	3	
静岡	静岡市立高等学校	4	
愛知	愛知啓成高等学校	5	
愛知	椋山学園高等学校	6	
岐阜	岐阜県立加納高等学校	7	
兵庫	相生学院高等学校	1	近畿
京都	京都外大西高等学校	2	
大阪	浪速高等学校	3	
京都	同志社国際高等学校	4	
大阪	城南学園高等学校	5	
兵庫	園田学園高等学校	6	
奈良	奈良育英高等学校	7	
広島	山陽学園高等部	1	中国
岡山	岡山学芸館高等学校	2	
山口	野田学園高等学校	3	
岡山	山陽学園高等学校	4	
広島	安田女子高等学校	5	
山口	山口県立西京高等学校	6	
徳島	徳島県立徳島商業高等学校	1	四国
香川	香川県立高松北高等学校	2	
愛媛	新田高等学校	3	
高知	高知高等学校	4	
宮崎	宮崎県立宮崎商業高等学校	1	九州
鹿児島	鳳凰高等学校	2	
沖縄	沖縄尚学高等学校	3	
福岡	第一薬科大学付属高校	4	
大分	福德学院高等学校	5	
鹿児島	鹿児島純心女子高等学校	6	
福岡	折尾愛真高等学校	7	
大分	大分県立大分鶴崎高等学校	8	

【選考委員会枠】

中高一貫で練習に励み、中学生のテニス指導も行う。月一度の清掃活動の他、親子テニス大会も毎年開催しテニスの普及活動・地域貢献活動も積極的に行っている。高知インターハイでは審判補助員として大会の成功を支えながら全国を目指し、チームで「目標ノート」を作り、部員同士が双方の目標を知ること、互いに切磋琢磨し団結力を磨いてきた事が選出の決め手となった。

高知高等学校 高知 6 四国 東海 8 三重 三重県立四日市西高等学校

県内に強豪校がいる中、文武両道を大切に、短い練習時間の中で選手自身で課題を共有し、生徒たちの創意工夫した練習メニューで県でも力をつけてきた。自立したチーム力が選出の決め手となった。全国選抜第一回出場以来の44年ぶりの出場となる。

【補欠校】

島根県立松江北高等学校 島根 6 中国 四国 5 愛媛 愛媛県立松山東高等学校

【選手宣誓】

高崎商科大学附属高等学校 群馬 8 関東 四国 1 徳島 徳島県立徳島商業高等学校